



2010-2011 年度

http://www.hnrc.jp

# 広島北ロータリークラブ週報

第 1238 号  
2010 年 8 月 19 日発行

創立 1969 年 4 月 24 日  
承認 1969 年 6 月 28 日  
例会日 毎週木曜日 12:30~13:30  
例会場 ホテルグランヴィア広島  
事務局 広島市南区松原町 1-5 ホテルグランヴィア広島 6F  
TEL082-506-0050 FAX 082-506-2530 E-Mail : hnrc@world.ocn.ne.jp

会長スローガン  
「今だからこそロータリー、地域との共生」  
会長 石田 平二  
幹事 杉町 孝



## ■本日の例会 2010年8月19日(木) 第2008回

ロータリーソング 「手に手つないで」

来客紹介

協定調印式並びに A E D 贈呈式

会員誕生日お祝い

卓話時間 新会員卓話 島本 章生 会員

## ■前回例会報告 2010年8月12日(木) 第2007回

ロータリーソング 「われらの生業」

来客紹介 ローター-家族親睦委員会

会員誕生日お祝い

連続出席表彰

卓話 財団プログラム常任委員会担当

『ローター-財団及び米山記念奨学会について』

## 連続出席表彰



山下 江会員 14 年

上田修史会員 2 年

水野 勝会員 2 年



## 会員誕生日お祝い



前列左から、福田会員・石田会長・畑会員・山田副会長  
中央左から、迫会員・深川会員・久保(雅)会員・丸本会員・久保田(博)会員、後列、越智会員 **おめでとうございます！**

## 会長挨拶 広島北RC会長 石田 平二

皆様こんにちは。本年度がスタートして、早や1ヶ月が経過しました。会長方針説明から始まり、クラブ協議会、ガバナー訪問、入会式、クラブフォーラム、京都伏見ロータリー提携調印式と目まぐるしく時が流れ、今日に至っております。

特に心に残っている事としましては、クラブフォーラムのときガバナーから北ロータリークラブを褒めて頂いた時の返礼を忘れていた事です。自分では細心の注意を払っていたつもりでしたが指

摘を受けるまで気が付きませんでした。リラックスを基本方針とする余りガバナーとの距離が近くなり過ぎ、深く反省しています。また、7月31日に開催されました家族親睦委員会主催による夏の家族会ではたくさんのロータリーメンバー及びご家族の皆様にご参加いただき感謝しております。

本年度は「楽しくやろうぜ、ロータリー」を合言葉に前進し、秋の地区大会等に向けて頑張っていきます。

会員の皆様にご協力の程をお願いいたしまして会長時間を終わります。

## 幹事報告 幹事 杉町 孝

\*ロータリーの友 (BOX配布)

\*手帳版会員名簿 (BOX配布)

\*ロータリー財団、米山記念奨学会寄付依頼文書 (BOX配布)

\*8/13 午後 6 時より理事会を「かなわ」において開催します。

## 委員会報告

### ■姉妹クラブ友好特別委員会 山本委員長

先週の京都伏見RCとの継続調印式の観光と懇親会には多数ご出席いただきありがとうございました。

### ■会報・IT委員会 増田会員

ロータリーの友 8 月号紹介

横組み P10「数字で見るロータリー」

横組み P17「急接近する中国と台湾」

縦組み P24「ROTARY AT WORK」東広島 21RCの活動

## ニコニコ箱 (\*^\_^\*)

## ニコニコ委員会

《お客様より出宝》

京都伏見RC辻基一様★ 神農様、忘れ物をホーム迄お届けいただき、感謝！

《自主出宝》

山本(忠)会員★ 8/5 京都伏見RCとの調印式、観光、マツダミュージアム見学、懇親会等会員の皆様には大変ご協力いただきありがとうございました。伏見RCの皆様も大変喜んで帰られました。

森嶋会員★ 本日のフォーラムよろしくお祈いします。所用により本日は欠席します。担当理事として深くお詫びいたします。

神農会員・木下会員・庄子会員 ローター-財団常任委員会のフォーラムをさせていただきます。ご協力の程よろしくお祈いします。

岡部会員 先日の京都伏見RCとの友好懇親会において、無様な歌を披露し大変失礼いたしました。坪内さん無理矢理引っ張り出し申し訳ございませんでした。

山内会員 岡部さん、坪内さん突然の指名にもかかわらず熱演見事でした。ありがとうございました。これで北ロータリークラブのメンツも立ちました。

福田会員 生を受けて、この方、友人・家族に支えられ、ようやく八十路(81 才)に到着しました。この上は、残された人生は何時迄か解りませんが、一生懸命に頑張り皆さん方に邪魔にならぬようにして行きたいと思ひます。

畑会員 誕生日のお祝いをして頂き、ありがとうございました。50

才に「リーチ」となっていました。

**久保田(博)会員** 誕生月お祝いいただきありがとうございました。52才を迎えます。まだまだ大学生・高校生・中学生の3人の子供が成長途中、健康に注意し、がんばってまいります。ありがとうございました。

**上田会員** 入会して早2年になりました。これからもよろしく願い致します。

**越智会員** 昨日、ビッグアーチで行なわれた広島市中学生陸上大会において長女が走り幅跳びで2位に入りました。また本日行なわれた80メートルハードルでも予選を通過し、午後からの決勝に進出しました。そのため本日の野球の練習を欠席します。

**小河会員** すいません。こんな写真で。すぐ撮り直します。

**当日計 20,000円 累計 238,000円**  
★=3,000円、★=2,000円出宝

**卓話時間**

『ロータリー財団及び米山記念奨学会について』

担当:ロータリー財団常任委員会

**財団プログラム委員長 神農 洪明 会員**

皆様こんにちは。今年度財団プログラム委員長を拝命いたしました神農です。本日はロータリー財団常任委員会フォーラムの時間を頂き有難うございます。又、それにあわせ、100万ドルの食事にご協力頂きまして重ねてお礼申し上げます。

石田会長の運営方針と6つの計画を踏まえ、当委員会に課せられた項目を達成するために、三つの目標を立てて次の通り実行していきたいと思えます。

※三つの目標

1)ロータリー財団と米山祈念奨学会において、皆様方の寄付がなぜ必要とするのか理解を深めていただくように努める。

正直に言いまして私もなぜここまで必要なのかまだよくわかりません森嶋理事が言われるには「世の中金が無ければ何も出来ないロータリー活動も例外ではない」と言われていました。

今月22日に地区の勉強会がありますので皆様方に説明できるようよく勉強してきます、

2)地区目標として当クラブに課せられた寄付金の目標額を100%達成する。

ロータリー財団 年次寄付一人当たり:100ドル以上

恒久基金;ベネフェクター一人以上

ロータリーの2億ドルのチャレンジ:一人当たり15ドル以上

3)米山奨学生の世話クラブとして心の通った支援をする

これにつきましては後ほど木下米山奨学小委員長より具体的な説明を致します。

私たちの御願いと致しましてはただただ皆様方にロータリー財団・並びに米山奨学会に寄付を御願ひすることのみでございます。そして、冒頭申し上げましたとおり当委員会に課せられました目標を達成できましたならこの上ない幸せでございますこの厳しい経済情勢の中、任意で御願ひする寄付でありますどうか宜しく御願ひいたします。

\*テーブルの上にアンケート用紙を配布しておりますご面倒ではありますが入力をして頂きますよう宜しく御願ひ致します。

**米山奨学委員長 木下 享介 会員**

【ロータリー米山記念奨学事業について】

<歴史と意義>

○「ロータリー米山記念奨学事業」は1952年、東京RCが、海外から優秀な学生を日本に招き、勉学を支援することによって国際親善と世界平和に寄与したいということから立ち上げた事業

○5年で国内の全ロータリー地区の合同事業に発展

○1967年、財団法人「ロータリー米山記念奨学会」を設立

国内では民間最大の奨学事業となっている。

○米山記念奨学事業は「留学生が平和を求める日本人と出会い、信頼関係を築く」ことを目的に始められ、「日本のロータリーに最もふさわしい国際奉仕事業」と高く評価されている。

つまりこの事業は単に奨学生に金銭の支援をするだけでなく、国際親善と世界平和に寄与する活動である。

<事業規模>

○年間の奨学生は800人。2008年度の寄付収入14.9億、事業費14.4億円

○これまで支援した奨学生は累計1万5776人。出身地は119の国、地域

○ただし、最近では寄付金が漸減しており

かつては1000人で修士、博士課程で月額15万円だったが、現在は(2005年から)800人で月額14万円

※2009年度は目標の14.5億に達しない可能性強い

<寄付のお願い>

○今年度の地区目標として一人当たり15,000円以上の達成

○当クラブの寄付状況

○特別寄付には表彰制度がある

・累計3万円で準米山功労者

・累計10万円で第1回米山功労者

・累計20万円から90万円まで第2～9回米山功労者マルチプル

・累計100万円で第10回米山功労者メジャードナー

**米山奨学委員 庄子 佳良 会員(米山学友会顧問)**

縁があり、学友会の顧問をさせて頂いておりますので、学友会につきまして説明をさせて頂きます。

「米山記念奨学会」は、米山梅吉翁の功績を記念して創設されましたが、現役奨学生が一定の期間を終了いたしますと、自動的に「学友会生」として登録をされ、母国に帰られたり、日本に残って勉強されたり、就職されたりしております。

この学友会生を継続的に支援しようと日本全国で学友会が設立され、日本では29団体、海外では韓国と、台湾と中国にありまして、2710地区でも1998-1999年度の仁田パストガバナーと地区委員長の杉井さんのご尽力で、10年前に創設されました。

地区学友会では、学友会報の発行や、各種交流事業や、日本の文化を知るための研修旅行などを企画しており、その事業を通じて現役奨学生やロータリアンとの交流を続けております。

その運営費捻出のために、お一人当たり年間3,000円の賛助会員の御願ひをしておりますので、ぜひとも米山学友会へのご理解をいただき、昨年同様、継続して頂きますようお願い申し上げます。

米山記念奨学会および学友会を通じて留学生を支援することは、私の青少年健全育成に対するライフワークの一つとして取り組んでいく所存でございますので、ご理解をいただき、できましたら我がクラブ全会員のご支援をお願い申し上げます説明を終えさせていただきます。

ありがとうございました。

■出席報告 出席委員会

2010年8月12日(木)

会員 79名 出席 57名 欠席 22名

来客 0名

前々回(7/29)M-up後出席率 100%

7月度平均出席率 100%

■次回例会ご案内 2010年8月26日(木)

会場:ホテルグランヴィア広島 4F 悠久 食事:和食

卓話:(株)酒商山田 代表取締役 山田 淳二様

『日本のお酒の魅力』